

令和5年度(2023年度)第1回八王子市青少年健全育成基本方針の策定等に係る 検討会 会議録

名称： 令和5年度(2023年度)第1回八王子市青少年健全育成基本方針の策定等に係る検討会
日時： 令和5年(2023年)8月17日(木) 午前10時～11時
場所： 八王子市役所本庁舎8階802会議室

【次 第】

- 1 挨拶
- 2 第162回八王子市青少年問題協議会の協議・報告内容について
- 3 八王子市青少年健全育成基本方針令和6年度(2024年度)重点目標等の方向性について
- 4 情報交換

【出 席】

八王子市青少年対策地区委員会連絡会代表	河南 聰捷	委員
八王子地区保護司会代表	三入 重夫	委員
八王子市内私立中学高等学校校長代表	木崎 右成	委員
八王子市公立小学校校長会代表	源田 佐知子	委員
八王子市青少年育成団体連絡協議会	鈴木 秀男	委員
八王子警察署生活安全課長	平湯 達也	委員
高尾警察署生活安全課長	田村 正志	委員
南大沢警察署生活安全課長	松原 清十郎	委員
八王子警察署生活安全課少年第一係	武田 真司	委員
高尾警察署生活安全課少年第一係	宮本 浩二郎	委員
八王子市教育委員会事務局学校教育部統括指導主事	狩野 貴紀	委員
八王子市子ども家庭部青少年若者課長	小俣 英一	委員
八王子市子ども家庭部子ども家庭支援センター館長	小池 明子	委員
八王子市健康医療部生活衛生課長	和田 隆	委員
八王子市健康医療部保健対策課長	荒川 泰雄	委員
八王子市生活安全部防犯課長	昆 雅朗	委員

出席 16 名

(事務局) 八王子市子ども家庭部青少年若者課 永井、濱、錦織、飯倉、中條

【配布資料】

- (1) 令和5年度(2023年度)第1回八王子市青少年健全育成基本方針の策定等に係る検討会 次第及び資料
- (2) 第162回青少年問題協議会会議録
- (3) 八王子市青少年健全育成基本方針令和5年度(2023年度)重点目標リーフレット

【議事要点】

1 挨拶

2 第 162 回八王子市青少年問題協議会の協議内容・報告

資料に基づき第 162 回八王子市青少年問題協議会での協議内容等について要点を事務局から報告

→委員からの意見等なし

3 八王子市青少年健全育成基本方針令和 6 年度(2024 年度)重点目標等の方向性について 資料に基づき事務局から説明

【河南委員】

あいさつについて、我々、青少対でも、学校や他の団体と協力し、地域ぐるみで「あいさつ」運動を推進している。あいさつは社会生活の第一歩だと思っているので、引き続き、推進してほしいと思う。

また、子どもの声に耳を傾けることに関する行動指針について、青少対の中には、地域の学校と連携して、子どもの意見発表会を行っている地区もある。私たち城山地区でも、「思いやりの心」に関する標語を地域の小中学生から募集し、優秀作品を地域に掲示して、子どもの考えを、地域に知ってもらう活動をしている。毎年、1,000 作品程度と、多くの応募があり、優秀作品は、地域で表彰し、掲示板に掲示している。この取組は、子どもたちが「思いやりの心」を考えるきっかけになっており、子どもの考えを聞くことは、とても重要なことだと思うので引き続き推進してほしいと思う。

【鈴木委員】

あいさつに関してだが、私の住んでいる家の隣が大きな公園で、多くの子どもが集まっている。私も、子どもにあいさつをするが、返してくれる子どもが少ない。学校では、知らない人から声を掛けられると危ないと教えていると聞いている。こういう意味で、あいさつ運動は、みんなで考えていかなければいけない問題で、今後も推進していく必要があると思う。

【昆委員】

あいさつに関して、私も地域、関わりのある子どもたちにはあいさつをしているが、知らない子どもには、なかなか声を掛けにくいと感じている。

先ほどの河南委員のお話にもあったような地域のイベントに地域の大人が関わると、子どもに「この人、地域の大人なんだな」と思ってもらえる。このように、大人と子ども、お互い顔見知りの関係になると、あいさつ運動が地域に広がっていくと思う。

【三入委員】

あいさつについてだが、あいさつを返してくれる子どもが少ないので、家庭や学校で、知らない人に声を掛けてはいけないと教育されていることが背景にあると思う。

私も長い間、学校の門に立ってあいさつ運動をしている。2・3か月たつと、子どもから

声をかけてくるようになるが、こちらから声をかけると逃げ出してしまう子どももいる。こういった子どもがいるのは、子どもの問題ではなく、私たち大人の問題だと思う。資料にも大人が手本になろうとの記載があるが、このような考え方を、青少対を含めた学区内で広め、地域ぐるみで、長い時間かけて大人からの声掛けを続けていけば、子どもたちが変わってくると思う。

顔見知りになると、「おじちゃん今何時?」など、子どもがオープンに声を掛けてくるようになることが多い。これは、見方を変えると、子どもが変わったのではなく、我々大人が、子どもにどういう風に声を掛け、育ててきたかが、段々、子どもに受け入れられてきた結果だと思う。

こういったことを踏まえ、市、地域、学校ぐるみで取り組み、我々大人が変わり手本となることで、子どもが安心してあいさつできる環境をつくっていくことが大事だ。現実には、大変難しい取組ではあるが、努力していく必要があると思う。

→その他、委員からの意見等なし。

決定事項

検討会として内容について了承。

委員からの意見を踏まえた事務局案を次回提案することとした。

4 情報交換

【平湯委員】

重点目標の「つないでいこう思いやりの心」は、非常にわかりやすく、大事なことだと思う。また、あいさつに関することであるが、犯罪を犯してしまう子どもたちに共通するのは、部屋が汚くちらかっていることであり、あいさつだと、玄関の靴を揃えるだと、片づけだと小さい頃からの規範意識が大事なことだと感じている。こういう意味で、あいさつは大切なことだと思う。

また、2つめの子ども声に耳を傾けることについては、虐待も増えていて、家庭内のこととは、子どもから言いにくいので、周りの大人から声を掛けることは大事だと思う。また、子どもの自殺が増えていることから、寄り添ってあげる意味でも大切なことだと思う。

3つめのスマートフォンの適切な使い方については、たとえば、大麻について、いまだに青少年に出回っていたり、特殊詐欺については、闇バイトの形で少年が関わったりするなど、ニュースになっていることが多い。これらは、ネットから始まっているので、親を含めて、小さいうちからの教育が大事だと思う。

→その他、委員からの意見等なし。

5 閉会

閉会後直ちに、令和5年度(2023年度)八王子市子どもの安全安心連絡協議会を開会